

「With コロナ時代における未来アイデア」応募用紙

○応募者

氏名・法人名・団体名	
(法人・団体の場合)	
メールアドレス	
電話番号	

募集対象・応募資格適合への同意	<input checked="" type="checkbox"/> 同意します
暴力団関係者（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）に規定する暴力団をいう。）	<input type="checkbox"/> 該当しません

○応募内容

アイデア名	社会生活における行動時間の割り振り規制について
-------	-------------------------

提案の概要（200字以内）
現在の社会行動システムは、子どもから大人に至るまで、いつ、何処で、何をすることも法令に違反しない限り自由な行動が認められています。感染症予防対策は、人と人との接触を極力減らす事が求められており、人がいなければ感染拡大はありません。そのような意味で、男女別、年齢別等の行動範囲を時間帯で管理設定することにより、人間が集中するのが防止でき感染予防に役立つ。

提案のきっかけ ※様式自由
一極集中を避けるには、1日の24時間を有効活用することが不可欠であると考えます。1日の時間を延長することはできませんので、行動する人の流れを変えるシステム作りが必要と考えました。 スーパーマーケット等の食品業界をはじめ、鉄道などの輸送、道路などのインフラをはじめあらゆる生活を営む基幹産業全体において時間帯別の行動規制を実施します。 中国では、大気汚染が深刻なため、自動車のナンバープレートの偶数、奇数で利用出来る曜日を定め自動車の排出ガスの抑制を実施するなど、全体の総量規制が成果を上げていることに鑑み、人間の行動規制を実施するところにより、人との接触の機会が大きく減少することとなる。

提案の狙い（実施することで解決される社会的課題または創出される価値）※様式自由
例えば、現状ですと、ほとんどの人が利用するスーパーマーケット等、日常生活に必要な店舗等では開店時間から閉店時間まで、あらゆる年齢層の男女が商品の購入に自由に自分の意思で来ています。With コロナ時代の感染症予防対策は人と人との接触を減らすことですから、時間帯を設け、午前中は60歳以上の方が商品購入出来る時間帯、午後は、それ以外の方が利用できる時間帯等、年齢区分や男女区分を設け店舗に人が集中しないような対策を講じたらいかがでしょうか。今後、ますます高齢化社会が進み、お年寄りが多くなってきます。特に感染症対策としては、もっとも有効な対策ではないでしょうか。

実現可能性や実現に必要な要素等 ※様式自由

行動範囲・時間規制は、あらゆる店舗を始め、医療機関、行政窓口、交通機関等すべて行うのがもっとも効果的と考えますが、生活上大きな支障が生じるものは適用除外とするなど、とにかく従来の既成の概念を打ち破り抜本的な新型コロナウイルスの感染予防に特化した新しい生活様式が求められています。

提案の詳細 ※様式自由

具体的には、国や地方自治体が主体となり国や地方自治体の政策として実施することになります。社会生活を実施する上で支障がでるものは適用除外とするなど弾力的な運用が求められる。

今後ますます IT 化が進みリモートの仕事定着することにより、通勤電車などの混雑が緩和されることが予想されますが、例えば、偶数日は男性が利用でき、奇数日は女性が利用出来、更に、時間帯を詳細に設定することにより、年齢別の乗車人員を可能にし、大きく人の行動を制限出来るものとなります。このことは、すべての業種に適用されることにより、**With** コロナを生き抜くための新しい生活様式になり感染予防対策になることは間違いありません。

※ 各記入欄は適宜拡張して構いません。

※ 様式自由となっている項目は、別ファイル（ワード又は PDF 形式）で提出していただいても構いません。

※ その他、任意の参考資料も提出いただけます。

※ 応募いただいた時点で、上記内容（氏名、メールアドレス及び電話番号を除く応募用紙に記載されたすべての内容）の取扱いを県に一任するものとし、県が上記内容を第三者へ情報提供することに同意したものとします。